



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会） 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

## プロボウリングトーナメント（JPBA競技会）の開催にあたり、 感染拡大予防対策として、以下の取組にご協力をお願いします

### 1. 基本方針

プロボウリングトーナメント(JPBA競技会)に関わる選手(プロ&アマ)・コーチ・トレーナー・マネージャーを含む選手関係者、大会事務局・メディア・ボウリングメーカー・放送局・開催ボウリング場関係者並びにすべての大会関係者、そして観客と共有することが重要。



- もし、発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら出場を辞退する勇気、休む勇気を持つこと。
- 観客も観戦にあたっては発熱・咳・咽頭痛（のどの痛み）・だるさ、倦怠感などの多様な風邪の症状に加え、味覚、嗅覚障害や息苦しさなどの肺炎症状（以下これらをまとめて「諸症状」という）を認めた場合には会場に行かない意識が必要。
- 発症・感染拡大の原因となった場合には、自身だけでなく接触した同伴競技者の出場権まで奪う可能性があることを認識。プロボウリングトーナメント関係者への影響に留まらず、主催者・スポンサー及び開催地域へ重大な損害を与えること、開催地域の住民並びに医療機関への多大な迷惑をかけること、翌週以降のプロボウリングトーナメント主催者やスポンサー、その他各ボウリング場イベント全般にまで影響を及ぼす認識が重要。
- 選手及びすべての大会関係者を守る、観客を守る、開催するトーナメントが感染クラスターになることを防ぐ、日本のスポーツ文化・ボウリング競技を守る"という視点から、新型コロナウイルス感染症に対する対策・対応を考えていくことが重要。
- トーナメント会場には、選手並びに選手関係者始め多くの大会関係者が全国から集まること、また観客を入れるプロボウリングトーナメントにおいては、観客に対する対策並びに観客が使用する施設、また提供するサービスにも十分な対策が必要であることを関係者一同で共有。

### 2. トーナメント開催における判断基準・実施5段階の定義

#### (1) 開催可否の判断基準

- ① 政府及び自治体の見解
- ② 大会開催地自治体の状況 ⇒ 当該イベントが開催される各都道府県知事の方針に従うことが大前提（開催や実施に迷われた際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ課や衛生部局等に相談）
- ③ 選手の状況及び動向
- ④ 他のスポーツの動向
- ⑤ プロボウリングツアー全体の状況



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会）

## 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

### (2) 大会実施の制限の検討（検討すべき実施5段階の定義）

#### ① 通常開催【競技・放送・取材・観戦・ホスピタリティ】

- \* 通常に開催できる（戻せる）判断基準を明確にする  
大原則として「政府対処方針」、「自治体からの要請」に則る

#### ② イベントの縮小【競技・放送・取材・観戦】

- \* 前夜祭・懇親会・ホスピタリティ招待の中止検討
- \* 主催者の大切な招待者を、感染のリスクから守る
- \* ギャラリーの入場制限やゾーニング（3つの密を回避）
- \* 観客の人気選手への集中対策（移動・観客同士の距離）
- \* 観客のうち、高齢者が多いことへの対策（健康アンケート調査など検討）

#### ③ 無観客開催【競技・放送・取材】

- \* ギャラリー入場禁止
- \* 選手関係者やメディアの施設入場制限、不要不急な大会関係者の施設入場制限、県境を越えて全国から集まる関係者の必要性を再度検討する
- \* 重症化しやすい高齢者の大会関与を当面は制限をする

#### ④ 非公開開催【競技・放送】

- \* ギャラリー入場禁止・関係者の削減・メディアの取材禁止  
（メディアへの公式記録配信、リモートによる取材や記者会見取材対応）
- \* 中継局と公式記録カメラマンのみ入場可とする

#### ⑤ 延期・開催地変更・中止

### (3) 緊急事態宣言発出中のイベント等の開催制限（基準）

#### ① 特定警戒都道府県での催物指針

比較的少人数のイベント等を含め、引き続き、催物（イベント等）の開催制限に関しては主催者に慎重な対応を求めるよう、各都道府県において適切に対応する。

#### ② 特定警戒都道府県以外の特定都道府県での催物指針

感染防止策を講じた上での比較的少人数のイベント等（参加する人数が最大でも50名程度と想定）については、地域の感染状況も踏まえて適切な対応を検討する。

但し、比較的小規模なイベント等を開催するためには、以下のような条件が必要である。

- ・ 3つの密（密閉・密集・密接）の発生が原則想定されないこと（人と人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）を目安に）
- ・ 大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと
- ・ その他、必要に応じて、適切な感染防止対策（入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスクの着用、室内の換気等）が講じられること

#### ③ 緊急事態宣言解除後

新型コロナウイルスは、いつもそばにいますと思えば感染防止策を継続し第2波・第3波の感染拡大を引き起こさないように注意を払いながら、プロボウリングトーナメントを開催。



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会）

## 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

### 3. 選手への注意喚起（イベントの参加募集時の対応、参加選手への周知）

(1) **新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止のため、しばらくの間、選手は以下の注意点を厳守し少しでも該当する場合・該当すると感じる点がある場合は出場を辞退すること。**

※ 「JPBA競技会 新型コロナウイルス感染症対策 特別規定」参照

- 風邪の症状（くしゃみや咳が出る）や37.5度以上の熱がある方
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある方
- 味覚・嗅覚にいつもと違う変化・異常を感じる方
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方
- 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域からの入国者並びに渡航者、及び当該在住者との濃厚接触がある方
- 過去14日以内に、新型コロナウイルス感染者が発生したクラスターとされる場所を訪れた方、並びに当人との濃厚接触がある方
- その他新型コロナウイルス感染可能性の症状がある方

### (2) 大会前の感染予防対策

- 「3つの密」すなわち密閉空間、密集場所、密接場面を普段の生活からできるだけ避ける運動を行う際は、できるだけ換気するなどの対策をとる
- 手洗い、アルコール消毒の徹底（接触感染予防）
- 咳エチケットの徹底。（飛沫感染予防） 咳が出なくても、電車に乗る時など、他人との距離が保てない場所に行く場合は、マスクを着用すること
- 大会2週間前から毎朝体温測定と症状（咳、たん、鼻水、呼吸困難）などのチェックを、  
[体温記録用紙] にチェック・記入すること ※別紙（健康チェック・体温記録用紙）参照併せて、大会期間中及び大会終了2週間後までチェック・記入すること  
(感染が拡大している現状では、注意していても感染を受けてしまうかもしれません。万が一に備えて、日々の健康チェックを行うようにしてください。具体的には、毎日の体温チェックや症状の有無、外出した場合は外出先、接触した人の氏名などをメモしておくといでしょう。これらは今後、体調に不安が生じて問い合わせをする際、医療機関を受診したりする際には、必ず聞かれることとなります)
- 大会要項へ注意事項掲載
  - ・上記(1)及び(2)の徹底のお願い
  - ・マスク持参のお願い
  - ・健康チェック体温記録用紙持参のお願い
  - ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、指示に従うことに同意すること
  - ・大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者・JPBA事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をすること
  - ・JPBAホームページに感染拡大予防のための留意事項案内を掲載



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会）

## 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

- 感染リスク防止のための準備（会場計画指導、対応備品の準備）
  - ① 飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）防止の備品等の準備  
マスク、遮断壁(アクリル板やビニールカーテン)、フェイスシールド 等
  - ② 接触感染（手で触れることによる感染）防止の備品等の準備  
手指アルコール、ゴム手袋、除菌シート、ペーパータオル、定期消毒作業体制 等
  - ③ 検温・健康チェック・規則啓蒙のための備品等の準備  
体温計、サーモグラフィ、健康アンケート用紙、注意喚起掲示 等
  - ④ 3密発生個所の点検及びソーシャルディスタンスを確保する会場計画策定  
入場制限、導線、選手控室、ボール置き場、更衣室、プロショップ、換気、備品使用制限 等
  - ⑤ スマートフォンを活用した接触確認アプリの活用検討・義務化
- プロアマオープン等、プロボウラー（JPBA正会員）以外の選手（例：PBA・KPBA、アマチュアボウラー）が出場する場合は、各大会実行委員会より事前に〔健康チェック・体温記録用紙〕を送付し、当日受付に提出させること

### (3) 大会当日の参加受付時の対応・留意事項

- 選手受付テーブルに、手指消毒剤を設置する
- 共有する物品（テーブル・椅子等）は、定期的に消毒を行う
- 出場者がマスクを準備しているか確認すること  
選手受付時・着替え等、競技中以外は、マスクの着用を求めること  
（準備運動・競技中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある者は、入場制限を行う
- 体調確認【健康チェック・体温記録用紙】の提出 ※スマホツールでの体調報告も可  
・参加選手から以下の情報を主催者が保存できる形で提出を求める  
① 氏名・連絡先（プロボウラー以外は氏名・年齢・住所・連絡先(電話番号)）※個人情報に注意  
② 当日の体温・体調問診票 ③ 大会前2週間における体調・行動のチェック
- 選手受付時は、距離をおいて並べるように目印の設置等を行う  
※他の出場者や大会関係者等との距離（できるだけ2mを目安に(最低1m)）を確保すること  
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- レーン抽選は、下記方法のいずれかにて行うこととする
  - ・自動抽選機にて決定
  - ・手動にて抽選後、自分の筆記用具にてライセンス番号（必要な場合コード番号も）と氏名を記入し、指定の場所（トレー・箱等）に提出
  - ・混雑を避け大会前日に抽選（シフト抽選と併せ）を行う
- ボール登録・検量時の金銭授受について
  - ・キャッシュレス決済など電子的な受付の一層の普及・促進を図る
  - ・検量証の購入やボール登録料の現金授受等は、事前に両替・小銭等を用意する
  - ・手から手への直接的な授受を避け、コイントレーでの現金受渡を励行する
  - ・iPadによるボール登録の除菌対策



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会）

## 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

### (4) 大会期間中の感染防止対策

- 各自、体温計を持参し自己の体調管理に努めること  
当日、競技委員等による検温及び体調検査にて、37.5度以上の熱や感染可能性の症状があると判断した場合及び検査を拒否した場合や指示に従わない場合は、中止勧告を与え当該競技会に出場できないものとする
- 会場センターの入場時及び退場時やボウリングフロアを出入りする際は、必ず手指等消毒を行うこと（殺菌用のアルコール液設置、ウエットティッシュ除菌タイプ等の準備）
- 競技スタッフ・会場スタッフによる施設内の定期的なアルコール殺菌の実施  
ボウラースベンチ内のテーブル&椅子、ボールリターンラック・タッチパネル・ボタン等、トイレ、飲食飲料販売、観戦者用の椅子・スタンドなどの施設は、定期的な換気と消毒を施す
- 咳エチケットを守ること。咳・くしゃみ等の症状がある者は、競技中もマスク着用を義務づける  
※会場への入場時及び退場時、選手受付時、他人との距離が保てない場合は、マスクの着用を協力すること（不安な選手は投球時も可とする）  
※大会関係者・場内スタッフも、基本マスク着用のうえ対応する
- **(公財)日本スポーツ協会より**・・・運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるもの(※)とするものの、参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間、特に会話する時には、マスクの着用を求めることが考えられます。  
(※)マスク(特に外気を取り込みにくいN95などのマスク)を着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知すること。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知すること。
- 投球時を含め、選手同士の間隔を空けること（不必要な私語・ハンドタッチは禁止）
- 大きな声で会話・他の選手の応援をしないこと
- 選手ミーティングや開会式・懇親会等においても三つの密を避け、ソーシャルディスタンス確保に努める（できるだけ2m以上(最低1m)）
- 各自、自分用の筆記用具を持参すること
- 飲み終えた飲料水（ビン・缶・ペットボトル・スポーツゼリー等）は、各自責任を持ってゴミ箱に捨てること（ボウラースベンチ内にはペットボトルのみ持ち込み可、棚に置かず自分のバッグに入れること）
- 鼻水、唾液などが付いたゴミ、使用済みテープ類のゴミ（ボールの指穴や手・指等に貼ったもの、保護テープ等）は、ビニール袋に入れて密閉し縛ってゴミ箱に捨てること（ビニール袋は各自用意）
- ゴミを回収するスタッフは、マスクや手袋を着用すること（マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う）
- 休憩スペース（選手控室・ボール置き場・更衣室・喫煙所等）は、一度に休憩する人数を減らし、対面で会話をしないようにする（常時換気することに努める）
- 競技&会場スタッフも体温チェックを徹底し、選手の来場制限に該当する者は出勤停止とする
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会）

## 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

### (5) 大会期間中に選手・選手関係者・大会関係者に感染者が発生した場合（PCR検査の結果陽性反応が出た場合）の対処（本人からの通告、保健所からの連絡等）

※予め会場施設の立地する保健所・自治体の担当部署と対応方針について検討しておく。

- 即時に保健所へ報告し、求められる情報の速やかな開示を行う
- 保健所の指示に従い、早い段階で大会中止（会場閉鎖）も含め検討し、関係者へ周知の徹底を行う
- 行政に対する関連者リストの提出を求められる場合を想定し、個人情報の取り扱いに留意しながら、参加者名簿・来場者名簿等を整備・管理する

### (6) 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合（PCR検査の結果陽性反応が出た場合）は、主催者、日本プロボウリング協会事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

## 4. 観客への対応および観客の入場を前提とした試合開催について

### (1) プロボウリングトーナメントの観客に生じる感染リスク

- ・ 不特定多数、氏名及び居住地がわからない観客が集まる
- ・ 開催する都道府県外からも人が集まる
- ・ 人込みにおける不特定多数との遭遇・接触
- ・ 試合観戦中に濃厚接触状態となる箇所が一部であるが発生する

### (2) プロボウリングトーナメント観戦の観客に対する感染予防策

観客も参加（入場）させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること。大声での声援や会話は控えること、会話をする場合場合には、マスクを着用すること等の留意事項を周知すること

- ・ 発熱、咳、倦怠感、咽頭痛などがみられる場合には観戦をご遠慮いただく（心臓、肺などに基礎疾患がある場合は、相談の上ご遠慮いただく場合もある）  
自分を守るだけでなく、多くの仲間、選手を守ることを理解をお願いする
- ・ 過去14日以内に国外から帰国した選手、選手関係者、メディア、大会関係者、観客及び当該在住者との濃厚接触がある者の立ち入り制限
- ・ 入場時の濃厚接触を減らすための工夫  
開場時間の繰り上げと入場ゲート手前の新たな待機ゾーンの設置による入場時の混雑緩和  
券種に基づいた規制退場による退場ゲートの混雑解消など
- ・ 非接触式電子温度計やサーモメーター等を利用した入場時の体温チェックを実施  
来場者も入場ゲートにて検温を実施し37.5℃以上の発熱を感知した場合観戦をお断りする
- ・ 会場でのマスク着用の呼びかけ及び手指消毒剤の設置（入場・退場時の手指消毒の推奨など）
- ・ 3つの密を避ける策として、人数制限（観客・選手関係者・大会関係者等・当面収容人数の半分を目安とする）やゾーニング（環境を区域分け、密集や交差を避けること）も検討



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会）

## 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

- ・ 観戦時の濃厚接触を減らす工夫として、観客同士の対人距離の確保（できる限り2 m（最低1 m））等を講じ、対策事例を共有し安全レベルを高める  
サインや握手の禁止、プレゼント等の受け取りの禁止（協会側から選手及び観客への案内）  
応援について、飛まつ感染や接触感染の恐れがある場合は、協会及び大会実行委員会で協議し、選手及び観客へ案内する
- ・ ファンから手渡されたペン、色紙、グッズなどでのサインを行うファンサービス、ハイタッチなどを行わない
- ・ トーナメント会場に飲食スペースが併設している場合は下記のとおり対応する
  - ① テーブルやいす等を減らしソーシャルディスタンス(最低1 m、出来れば2 m)の確保
  - ② 席の配置を対面から横並びに変更する
  - ③ 常時喚起することに努める
  - ④ 個室がある場合は、その利用は休止すること
  - ⑤ 定期的に、テーブルやいす等の手の触れる箇所を消毒
- ・ 流行時には無観客試合、試合延期も含めて検討

### (3) 観客から感染者が出た場合の対応

観客に感染者がいたことを公表する。感染者からは、名前、年齢、住所等の個人情報提供にご協力いただくようにする。また、当日の交通手段や、会場内での観戦ルートへの聞き取りを行い、同日の観戦者へ健康観察などの注意喚起を行う。

### (4) 観客の入場を前提とした試合開催について

#### 【緊急事態宣言発令中】

特定警戒都道府県・・・プロボウリングトーナメントの開催は中止するべきである。

特定警戒都道府県以外・・・前夜祭大会、大規模なパーティーは中止する。

観客動員は見送り「無観客大会」を検討する。

会場内の感染防止策を徹底する。

#### 【緊急事態宣言解除後】

観客動員を行う場合は、「3つの密」を徹底して避ける施策を講じる。

前夜祭大会のプレー中は、「3つの密」を徹底して避ける施策を講じる。

表彰パーティー等は「3つの密」になる可能性が高く、当面は中止するべきである。

観客の入場を前提とした試合開催する場合には、ウイルスの感染の可能性は絶えずあることを念頭に、万全な防御策のもと実施するとともに、医師の配置等は難しくとも厳密な規則・観戦規則を予め告知徹底の上で、安全に行うこと。

以上の点を考慮し、選手、観客、そして日本のプロボウリング文化を守る決断と実行をする。



# プロボウリングトーナメント（JPBA競技会） 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【簡易版】

## 5. 会場センターの日常の対策について

トーナメント会場となる開催ボウリング場は、日常の営業活動より『新型コロナウイルス感染症対策（公社）日本ボウリング場協会ガイドライン』作成：公益社団法人日本ボウリング場協会、に沿って対応をお願いします。

- ※ プロボウリングトーナメントの開催に際しては、開催地の都道府県の方式に従うこと、今後の感染状況の変化、政府の対処方針の変更等により都度改訂させるものといたします。

令和2年(2020年) 6月17日

公益社団法人  
 **日本プロボウリング協会**  
**Japan Professional Bowling Association**

# 体温記録および行動記録 チェック用紙

**J P B A 競技会（承認イベント含む）については、  
大会2週間前から大会期間中および大会終了後2週間のチェック・記入をお願いします**

（新型コロナウイルスに感染または感染の疑いがある場合、2週間遡っての行動記録が非常に重要となります。※他のスポーツガイドラインでも義務化・推奨されています）

- 毎朝体温測定と諸症状(咳、たん、鼻水、呼吸困難、味覚・嗅覚違和感)などのチェックをお願いします
- もし気になる症状が現れたときには、勇気を持って出場を辞退し最寄りの保健所・帰国者・接触者電話相談センターへご連絡ください

大会名： \_\_\_\_\_ ライセンス No. \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_  
※プロボウラーはライセンスNo.記入

前後2週間 記入	日付 (記入例) 2020/〇/〇 (〇)	時刻 7:30	体温(°C) 36.5	✓(チェック) を入れる		症 状	備考欄 (外出先や接触した人など) <small>※人が密集・密接している場所に行った、密接な距離で一定時間食事や会話をした場合は特に記録</small>
				なし	あり ( )		
				なし	あり ( )	なし	お昼に近くのコンビニで昼食を買う。
				✓	あり ( )	喉が少しだけ痛い	午後に知人( )さんと自宅玄関先で打ち合わせ(〇分)。
1	( )			なし	あり ( )		
2	( )			なし	あり ( )		
3	( )			なし	あり ( )		
4	( )			なし	あり ( )		
5	( )			なし	あり ( )		
6	( )			なし	あり ( )		
7	( )			なし	あり ( )		
8	( )			なし	あり ( )		
9	( )			なし	あり ( )		
10	( )			なし	あり ( )		
11	( )			なし	あり ( )		
12	( )			なし	あり ( )		
13	( )			なし	あり ( )		
14 前日	( )			なし	あり ( )		
大会1日目	( )			なし	あり ( )		
大会2日目	( )			なし	あり ( )		
大会3日目	( )			なし	あり ( )		
大会4日目	( )			なし	あり ( )		

